

3. グループアピアランスとライブカラー

グループアピアランス

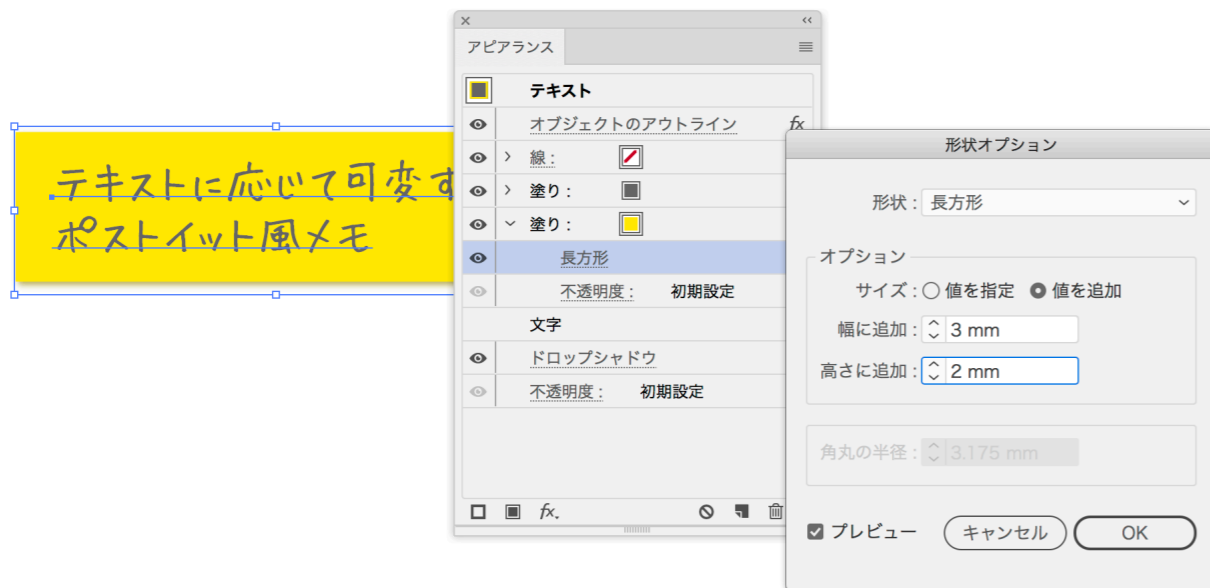
アピアランスは、グループ化されたものに設定することができる。
・ライブカラーと組み合わせると、さらに柔軟なカラー変更ができる

ロジック

テキストの量に応じて図形を描画するには「形状に変換」効果を使う

管理番号 A12345

管理番号 A12345



CC ライブラリ

1. Illustrator と Photoshop の連携

Illustrator と Photoshop の連携を行うとき、コピー & ペーストやファイルの配置でなく、[ライブラリ] パネルを介してやりとりする。

- ・ペースト時、option+ドラッグで編集可能に

2. ほかのユーザーとの連携

よく使うパーツのライブラリ化、ほかのユーザーとのデータ共有にも利用できる



リコー POD 実感WEEK セミナー

ベテランほど知らずに損している Adobe CCの新常識

～「早く終わる」「キレイに仕上がる」Creative Cloudの機能強化

鷹野 雅弘(スイッチ)

Photoshop



1. インターフェイス、変更しておきたい設定

- ・ダークUI ————— キーボードショートカット (shift+F1/F2)、イースターエッグ
- ・スクラブズーム ————— ズームツールを選択時、オプションバーで設定
- ・フリックパン ————— [環境設定] の [ツール] カテゴリで設定
- ・ピクセルグリッドの表示 ————— [表示] メニューの [表示・非表示] → [ピクセルグリッド]

2. 角度補正

Photoshop CC 2015.5

[切り抜きツール] の [角度補正] オプションを選択し、水平であるべきところをドラッグ

- ・[切り抜いたピクセルを削除]
- ・[コンテンツに応じる]
- ・キャンバスを広げる際にも利用できる



従来は[ものさしツール]で水平であるべきところをドラッグして、オプションバーの[角度補正]をクリックした



3. 切り抜き

従来

1. [クイックマスクツール] でざっくり選択
2. [境界線を調整]

Photoshop CC 2015.5 以降

[選択とマスク]

4. キズ・ゴミのレタッチ

スポット修復ブラシツール

スマートオブジェクト化している場合、新規レイヤーを作成し、[全レイヤーを対象]

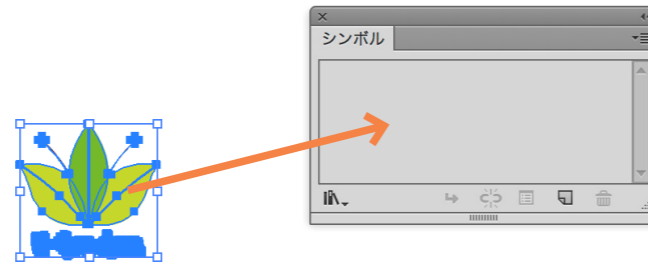


1. シンボル

アートワークを複製するのではなく、スタンプを押すように再利用する機能 (Illustrator 10以降)。

メリット

- データが軽くなる
- 誤ってアンカーポイントを動かしてしまうなどの事故を防げる
- 再編集を一括更新
- 置換できる



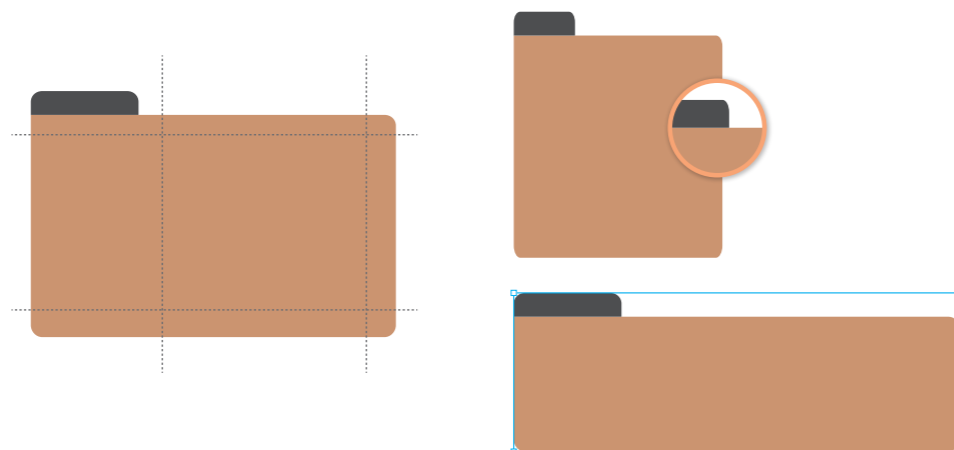
ダイナミックシンボル

シンボルインスタンスの塗り、線、不透明度、および、効果を編集できる (Illustrator CC 2015以降)。



9スライス

シンボルを9区画に区切り、中央の行・列のみ、伸縮できるようにする機能 (Illustrator CS5以降)。



- Illustrator CC以降、ライブコーナーと組み合わせることができる
- テキストを入れる場合には、[オブジェクトのアウトライン]効果を設定しておく

2. アートボード

Illustratorでページのように扱える機能 (Illustrator CS4以降)。

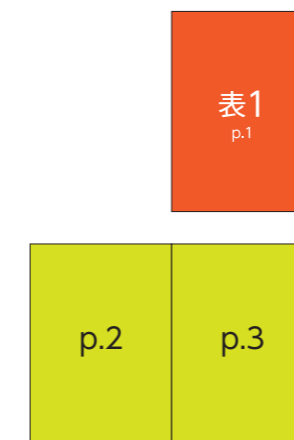
- 名刺、便せん、封筒など、アートボードサイズが混在していてもよい
- アートボードはPDFのページとして出力される
- 「柱」のような共通パーツを入れるには[すべてのアートボードにペースト]を実行
- ノンブル(ページ番号)を入れる機能はない → スクリプトを利用



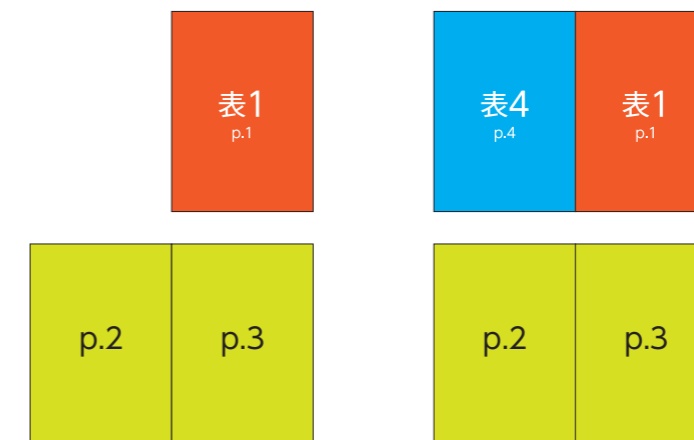
見開き

4ページのページものを作成するとき、表4と表1は隣り合わせにして作成したい。しかし、確認や配布用のPDFでは別ページにしたい。このような場合には、アートボードを重ねる。

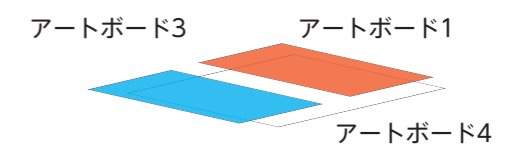
【確認用、配布用】



【入稿用】



- アートボード1 p.1
- アートボード2 pp.2-3
- アートボード3 p.4
- アートボード4 p.1+p.4



シンボルとの組み合わせ

同じ体裁で店名や住所のみ異なるチラシを作成するような場合には、共通パーツはシンボル化する。別のIllustratorファイルを配置してもよい。